

適正処理の維持・向上部会（第7回廃棄物減量等推進審議会）

2011年9月15日

前回の出されたテーマのうち、今回は、生ごみと中間処理施設の建替えに関して討議を深めた。答申に向けて盛り込みたいことをまとめた。

1. 生ごみに関して

- ① 自宅でのコンポスト化と自宅菜園での堆肥の使用を、さらに勧めることが望ましい。
- ② 現在行われている生ごみ収集モデル地区を拡大し、希望者が参加できるようにする。
- ③ 市民菜園等で、堆肥化の実践を出来るようにする。
- ④ 収集生ごみの堆肥化に当たっては、出来た堆肥の使用拡大やコストを考慮しながら、進めていく必要がある。
- ⑤ 生ごみの資源化には、コンポストばかりでなく、メタン化等そのほかの方法も検討されたい。

2. 小村大中間処理施設の建て替えに関して

- ① 建替え後の焼却炉の規模は、人口の動向やごみ減量の施策の充実を考えると、現在より小規模になることはあっても、拡大する必要は考えられない。
- ② 建替え後の焼却炉には、発電や熱利用の付帯設備が望まれる。
- ③ 排気、排水、焼却灰等の環境への影響を配慮し、常時、計測データの即時公表をする態勢を保つ。
- ④ 建替え後の設備は、見学者の安全と学習しやすい見学路を考慮する。
- ⑤ 建て替えの進め方に関して、事前に工程を確認し、住民の理解の下に進めてほしい。